

仏教の師によるセックスの違法行為（嶋野タイ栄道）に関して
2011年6月1日10時59分、しょうによる掲載記事

この記事は玄覚-アゲインに最近掲載された...げんじょうの提唱を聴聞して、此処にも掲載するべきであると思った。
ばんこう ランデイ フィリップスは最近の騒動の後、理事を辞職した。

親愛なるげんじょう和尚

Eメールをありがとう。内容は不穏としか言いようがありません。
貴方もご存知なのですが、私が理事会を退職した理由は、栄道老師を即座に辞職させて、ZSS傘下で弟子に面接する事を止めさせたかったからです。

貴方も記憶されている事と思いますが、あの数々の審議が理事会で討論されていた時、心華老師は旧道を繰り返すか、逆行への路のみを主張していました。彼女は基本的に現状が理解出来ておらず、私が判断した所、それ以外の行動を取る能力が無いように見えました。彼女の師に対する忠誠は理解出来るものの、これは限度を超えています。彼女は直面している問題に対決していないのですが、今は対決すべき個人に対して対決しなければならない事態にあるのです。私は彼女の背後で是等を語っているではありません。私は既に同じ事を彼女に書き送った事があるのですが、彼女はこの対決は怒りより発したものであると理解しているようです。理事会員達は、この私をも含めて怒りの行動を取った事はありません。

私の理解している限り、貴方は（理事会と心華老師の同意を得て）栄道老師に手紙を送り、彼の仕出かした行為に対する誠意ある謝罪と、ある種の治療を求める栄道老師自身の声明書を要求しました。

私の理解している限り、栄道老師は彼の旧職を取り戻そうと言う試み以外何一つ行っていません。私の理解している限り、二人の旧僧伽メンバーが（老師の命により）僧伽は栄道老師のもとで修行をしたい希望であると言う懇願の手紙を書きました。私の推量では、この手紙が理事会の手に渡り、その結果僧伽は栄道老師の復帰を望み、理事会は僧伽の意見を代表していないという論争に至ったようです。

もし弟子が栄道老師のもとで修行したいのであるならば、私は心より成功を祈ります。やむを得ない事ですが、しかしZSSはその場所を提供しません。ZSSは栄道老師の所有物ではないのです。長い間彼は自分の所有物の如くに振る舞って来ましたが。

今こそ、統率力を発揮するべき時です。指導者は何事が起っているか、事態を理解出来ない弟子に対して説明しなければなりません。何が起ったか？

栄道老師はどのようにしてアメリカへ、又ニューヨークへ来たかという経緯について殆ど全面的に嘘をつきました。彼は公然とデタラメな嘘をつきました。彼は財政問題に関して非常に疑わしい怪しげな処理をしました。彼は繰り返し、彼の最大の後援者の希望を無視し、その結果この後援者から絶縁を言い渡されています。宋淵老師も同様勘当を言い渡したのですが一栄道老師は繰り返しこの事に関して嘘をつきました。彼は数えきれない程のセックス スキャンダルを起こしましたが、是等は明細に記録されています。彼は意地の悪い、執念深い彼の妻に正法寺を統率する権威を与えました。私の指導になる古参の僧伽メンバー達は彼女の退職を要求したのですが、彼は間もなく実際に、全く逆の事を行いました。最近のスキャンダルが発覚した時、彼は生温い謝罪状を表明したのですが、直ぐにニューヨーク タイムズ宛に手紙を書いてこれを撤回しました。彼はZSSの記録文書を私有しており、ZSSの現在の理事会よりこれを返還するよう再度催促されているのですが、これも無視、彼は殆どすべての要請に無視を続けています。現在彼は再び教鞭を取るべく背後から策動を計っています。

教職というものは授けられて得る特権で、資格ではありません。栄道老師は繰り返し、繰り返し信頼を裏切りました。 実に理不尽な話です。 もし理事会がこの事態を放置しておくならば、法的責任を問われる事になるでしょう。 もし心華老師がこれに同意出来ないならば（彼女は過去においてそうでした）彼女は退場するべきです。 住持が、とりわけ基本の分かっていない住持など、居なくても私達は立派に仏道を進める事が出来ます。 今は意見の一致を待っている時ではなく、弟子達に何を望むかと問うている時でもありません。 今は彼らに、なぜ彼らが欲しいと思っていたものが得られないかその理由を説明してやる時です。 栄道老師は師として信頼すべき権威者の道德能力に欠けており、その証拠に彼は地位を乱用して不行跡を働きました。 今こそ、統率力を発揮し、困難な解決を断行し - 彼らの為に立ち上がる時です。

確かに栄道老師は私にとって優れた師でした。 彼は私や他の人びとの人生を変え仏法の眼を開けてくれました。 しかし教える能力があり、仏法の眼を開かせる能力もあるという事実だけでは、教鞭をとり続けても良いという言い訳にはなりません。 彼が心底、深遠な変化を遂げぬ限り、彼はZSSとは無関係です。

どうか、心華老師が如何なる和議、妥協を提案しようとも賛同なさないように。 他の力のある人びとと同様、婦人が是等全ての中心にあるのでしょう。 和議妥協は栄道老師が真実誠意を示し、変化し、自責を表明した時行われるのです。

私は貴方の旅を羨んではおりません。 貴方と一部の僧伽の人びとに対して、私が多大な敬意を抱いていると言う事、どうか知っておいて下さい。 私に出来る事があれば、何なりとおっしゃって下さい。

このEメールをご自由に使用して頂いて結構です。

合掌

ばんこう ランディ フィリップス